

公益社団法人 全国産業資源循環連合会 御中

環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室

サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップについて

廃棄物・リサイクル行政の推進については、かねてより御尽力、御協力いただいております。厚く御礼申し上げます。

さて、本年8月10日に、岸田総理が富山県を視察された際に、「高い技術を活かした『地域に密着した資源循環の取組』は、まさに我が国が強みを持つ分野であり、地方活性化の観点からも、サーキュラーエコノミーの視点は重要であると感じました。(略)また、9月には、経産省と環境省を中心に、『サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ』を立ち上げ、地方を中心とした取組を加速させていきます。」との発言がありました。

これを受け、令和5年9月12日、経済産業省からサーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップに参画する会員の募集が開始されました。環境省としても、総理の発言を踏まえ、経済産業省と連携・協力してパートナーシップの取組を後押ししてまいります。

つきましては、貴会におかれましては下記の内容について、会員企業等に周知いただきますようお願いいたします。

記

1 パートナーシップ概要

サーキュラーエコノミーに野心的・先駆的に取り組む、国、自治体、大学、企業・業界団体、関係機関・関係団体等を構成員とする連携組織。

本年9月12日から会員募集を開始し、今後、関係主体の有機的な連携により、サーキュラーエコノミー実現に向けたビジョンや中長期ロードマップの策定、地域循環モデルの構築等に取り組むもの。事務局は、環境省の協力を得て経済産業省が担う。

2 応募方法 経済産業省ウェブサイト

<https://www.meti.go.jp/press/2023/09/20230912002/20230912002.html>

※本パートナーシップに参画いただける場合、上記ウェブサイトの「応募方法」に添付されている『参画申請書』に必要事項を御記入の上、メールにて経済産業省へ御提出ください。

3 パートナーシップの内容についてのお問合せ先

本パートナーシップについて御不明な点等がありましたら、下記お問合せ先まで御相談下さい。

<お問合せ先>

環境省 環境再生・資源循環局 総務課 循環型社会推進室

担当者 松田宗一郎

電話 03-5521-8336

E-mail junkan@env.go.jp

- 8月10日（木）に地方行脚として富山県を訪問（資源循環関係でハリタ金属を視察）。
- ぶら下がり会見にて、CE（サーキュラーエコノミー）に関して、総理から発言。

視察後のぶら下がり会見での総理発言

1. 関係者を官邸に招いた「サーキュラーエコノミーに関する車座対話」の実施
2. 9月に経済産業省・環境省を中心に「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」の立ち上げ



【参考】視察後のぶら下がり会見での総理発言全文

- そもう一つ、「サーキュラーエコノミー」について申し上げますが、循環経済、いわゆる「サーキュラーエコノミー」について、新幹線に使われるアルミを、高品質な部材にリサイクルして、再び新幹線に活用するこの先進的な取組や、若手女性社員が活躍する現場を視察させていただきました。
- 高い技術を活かした「地域に密着した資源循環の取組」は、まさに我が国が強みを持つ分野であり、地方活性化の観点からも、サーキュラーエコノミーの視点は重要であると感じました。
- 本日の現場視察を踏まえて、資源循環を地方活性化の起爆剤とすべく、関係者を官邸にお招きして、サーキュラーエコノミーに関する車座対話、これを今後実施したいと思っています。
- また、9月には、経産省・環境省を中心に「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」、これを立ち上げて、地方を中心とした取組をこれを加速させていきたい、このようにも感じています。